

「民族共生象徴空間」整備による
白老町活性化推進プラン

平成 28 年 3 月
白老町

活性化推進プラン 目次

理念	2
基本方針	2
白老町活性化プランの位置づけ	3
白老町まちづくりの課題整理	3
白老町活性化推進プラン計画期間	3
中期の実施方策	4
活性化推進プラン - 1 〈情報推進分野〉	5
活性化推進プラン - 2 〈活性化推進分野〉	8
活性化推進プラン - 3 〈基盤整備推進分野〉	12
活性化推進プラン - 4 〈教育・学習推進分野〉	15
白老町活性化推進プラン全体スケジュール	18

白老町活性化推進プラン

理念

本町には、ポロト自然休養林をはじめ雄大な北海道ならではの「自然との暮らし」、北海道を代表する黒毛和種の白老牛や四季折々の新鮮な魚介類などの食材や地勢を活かした多種多様な「産業との暮らし」、そして古くから受け継がれてきたアイヌ伝統文化による「文化との暮らし」など、多くの資源と人々とのつながりを大切にしてきた「誇るべき宝」があります。

国においては、先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するとともに、「民族共生象徴空間（以下、「象徴空間」という。）」の整備によって、アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとして、国民各層の幅広い理解促進の拠点並びに将来へ向けてアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展につなげていこうとしています。

本町では、これまでの実績を活かし、象徴空間整備により情報、技術、資料、知識、ひと等が「集まる」ことを活用し、「誇るべき宝」と融合させ、官民関係団体が一体となって、象徴空間整備の好機に合わせて、町の魅力をさらに高め、再興を図っていくために、まちの活力を高める指針として「白老町活性化推進プラン」を定めました。

基本方針

(1) テーマ

「みんなの心つながる活力あふれる共生のまち」

「心」一人ひとりが主人公となり、担い手となって心をひとつにすることで、理解と復興による多文化共生社会の構築をめざします。

「活力」文化を創造する活力、暮らしを豊かにする活力、産業を振興する活力は、豊かで魅力ある地域社会の維持発展への土台であり、雇用の場の確保や人材の育成に取り組み、まちの活力を高めています。

「共生」豊かな自然に恵まれ、アイヌの人々や先人たちが培ってきた歴史や文化、多彩な地域資源は、まちの誇りであり、故郷の愛着を育む重要な要素です。これらを受け継ぎ、後世に伝えていくことは私たちの責務であり、自然・産業・生活・文化に共生の精神を根付かせていきます。

(2) サブテーマ

①情報共有・発信

アイヌ文化の理解と復興による多文化共生社会の実現を図る。

②産業活性化

まちの資源を活かして人を呼び、地域に仕事を生み出す。

③基盤整備・おもてなし

地域と交流を支える都市基盤を構築し、ホスピタリティあふれる環境を創出する。

④教育・人材育成

教育体制を確立し、文化・歴史を尊重する人材の育成を図る。

⑤交流促進・連携

多様な交流の促進と活性化に対する理解協力の連携を図る。

白老町活性化推進プランの位置づけ

本活性化プランは、まちづくりの政策執行において、「白老町活性化推進基本構想」に示された白老町の将来ビジョンの実現にむけて、具体的な行動指針をまとめたものです。誰が主体的に取り組むかを明示することにより、住民にもわかりやすい内容となっています。

この活性化プランは、白老町内外への迅速な情報発信と、市街地の活性化による白老町の経済振興、まちづくりのための都市基盤整備、アイヌの歴史と多文化共生社会の理解に向けた教育の実現のために策定されました。

白老町まちづくりの課題整理

本活性化プラン策定に向けた住民調査結果等から、下記の課題が明らかになりました。

- 国による民族共生象徴空間づくりが進展する中、町の情報発信の重要性はますます高まっています。
- 白老町の経済活性化を進めるとともに、多文化共生のまちづくりにより、世界とつながる交流の場として、白老町を再創造する必要があります。
- 国立博物館の設立に向け、その周辺環境や施設の整備が急務となってきています。
- 町に関心を持ち、地域を学び、世界に向けて情報発信する人財の育成が大切です。

町外や国外の視点からみた白老町の価値を定義づけることによって、町民が白老町のもつ独自性や優位性を再認識し、白老町に関心と誇りを持つことが可能となります。そのための新たな観点である「多文化共生」は、白老町の象徴的な取り組みにつながる重要なコンセプトです。

白老町活性化推進プランの計画期間

本活性化プランの計画期間は平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 か年とします。

ただし、民族共生象徴空間づくり事業の進捗状況に鑑みて、毎年見直しを行うこととします。

中期の実施方策

白老町活性化推進プランの将来目標

情報推進分野

- ①誰もが象徴空間の意義を理解
- ②情報伝達や周知活動による多文化共生およびアイヌ文化の理解と共有
- ③理解と共有による啓発活動等への参画

活性化推進分野

- ①賑わいのある商店街づくり
- ②世界中に発信する観光地づくり
- ③多様な人材と交流を活かした魅力あるまちづくり

基盤整備推進分野

- ①アイヌ文化を活かした景観と基盤整備の推進
- ②ポロト湖周辺の有効な土地利用とアクセスの充実
- ③商業・観光施設整備の促進と地域ネットワークの形成

教育・学習推進分野

- ①アイヌ民族の歴史と文化の正しい認識と理解の普及
- ②民族の尊厳を尊重し合える多文化共生社会の実現
- ③多文化共生による地域発展

活性化推進プラン-1 < 情報推進分野 >

アイヌ文化への理解を加速させ、多文化共生社会の構築を図り、誰もがいつでもどこでもアイヌ文化に触れられ学ぶ機会があり、情報の共有ができる環境づくりをめざす。

将来目標① 誰もが象徴空間の意義を理解

基本方針① (1) 意義を広く発信する
(2) 周知活動の展開を強化する

主要施策① (1) 象徴空間の意義整理と情報発信活動の方向性検討
(2) 象徴空間周知活動の強化

活性化推進プラン A 象徴空間の意義整理と情報発信活動の方向性検討

象徴空間の意義、開設について、国内外への情報発信の方向性を検討する。

①象徴空間の意義整理および情報発信の方向性検討【町・関係団体】

活性化推進プラン B 象徴空間周知活動の強化

象徴空間の意義、開設の周知活動を強力に展開する。

- ①移動博物館事業の開催（国内主要都市、海外主要都市）【民博・町・各団体】
- ②白老町民への周知活動の実施（地域、団体、企業、学校、交通機関等）【国・各団体】
- ③北海道民への周知活動の実施（北海道、市町村、メディア）【国・北海道・町・関係団体】
- ④国民への周知活動の実施（国、都道府県、市町村、メディア）【国・北海道・町・関係団体】
- ⑤海外への周知活動の実施（国、メディア、企業）【国・北海道・町・関係団体】

将来目標② 情報伝達や周知活動による多文化共生およびアイヌ文化の理解と共有

基本方針② (1) 理解度の向上を図る
(2) 情報発信を強化する

主要施策② (1) 多文化共生およびアイヌ文化の理解度向上
(2) 情報発信の強化
(3) 情報発信ツールの作成

活性化推進プラン C 多文化共生およびアイヌ文化の理解度向上

アイヌ文化や民族の尊厳など理解度を向上させ共有する。

- ①アイヌ文化の重点的な周知【民博】
- ②アイヌ文化の理解度調査の実施【民博】
- ③アイヌ文化の理解度向上策の実施【民博】

活性化推進プラン D 情報発信の強化

様々なツールや機会によって多文化共生およびアイヌ文化の情報を発信強化する。

- ①インターネットや SNS などによる情報発信【町・関係団体】
- ②旅行雑誌やガイドブックへの掲載（パブリッシング）【町・観光協会】
- ③テレビ・ラジオなどの番組や観光大使などによる情報発信【町・観光協会】
- ④多文化共生およびアイヌ文化の理解・啓発活動等を目的としたおもてなし研修会の開催【町・観光協会】

活性化推進プラン E 情報発信ツールの作成

イメージや媒体などによってわかりやすいツールを作成する。

- ①イメージキャラクター等を活用した情報発信ツールの制作【各団体】
- ②アイヌグッズや伝統工芸、アイヌデザインを活用した情報発信ツールの制作【民博、アイヌ協会】
- ③訪日外国人を対象とした情報発信ツールの制作【町・関係団体】
- ④多文化共生イメージによる基本デザインの作成【町】
- ⑤象徴空間グッズの制作と PR 活用【町】

将来目標③ 理解と共有による啓発活動等への参画



基本方針③ (1) 理解・共有の輪を広げる
(2) 啓発活動への参画を図る



主要施策③ (1) 象徴空間キャンペーンの展開
(2) 参画活動の体制・手法の充実

活性化推進プラン F 象徴空間キャンペーンの展開

象徴空間の理解共有の輪を広げるため、キャンペーンを展開する。

- ①アイヌ地域ネットワークを活用した合同キャンペーン実施【アイヌ協会】
- ②東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れた観光キャンペーンの実施【町・観光協会】

活性化推進プラン G 参画活動の体制・手法の充実

より多くの人たちが参画し共感できる運動を展開する。

- ①地区アイヌ協会や北海道アイヌ協会、全国組織などでの参画活動の展開【アイヌ協会】
- ②多文化共生参画活動の展開【町・関係団体】

活性化推進プラン-2 < 活性化推進分野 >

地域資源を活用した本町のさらなる魅力づくりと受入体制の整備を進め、交流人口の拡大等による地域産業の活性化をめざす。

将来目標① 賑わいのある商店街づくり

基本方針① (1) 中心市街地の活性化
(2) (仮称) 博物館通り、グルメ通りの形成
(3) 地場産品、新商品の開発

主要施策① (1) 白老の顔づくり
(2) 商店街・宿泊施設の活性化
(3) 工芸品・特産品の開発・ブランド化

活性化推進プラン A 白老の顔づくり

白老町の「顔」となる施設、環境を整備し、象徴空間からの来訪者を積極的に街なかに受け入れる。ポロトコタンの文化的、デザイン要素などを取り入れた、アイデンティティのある街なかを創出する。

- ①集客拠点施設の開設（道の駅、マルシェ等）【町・関係団体】
- ②多文化共生およびアイヌ文化を表現する象徴的なモニュメントの設置【町】
- ③コタンコルク像の活用（象徴空間のシンボルとして）の検討【町・民博】
- ④看板設置・ライトアップによるPR【町・関係団体】

活性化推進プラン B 商店街・宿泊施設の活性化

商店街、宿泊施設の受入体制と機能強化を図り、交流人口の増大、滞在型観光に対応できる環境整備を進める。

来訪者の満足度を高め、リピートしたくなる飲食店、土産物店、宿泊施設の拡充を図る。

- ①宿泊施設の実態調査、課題等の把握（支援メニュー等の検討）【町・観光協会】
- ②宿泊施設のリニューアル、アイヌ文化等を取り入れた宿泊施設の整備【事業者・町】

- ③多様な宿泊ニーズに対応できる体制づくり（人材育成等）【事業者・町・観光協会】
- ④各宿泊施設における特色・魅力づくり（オプションルツアーの造成等）【町・観光協会 事業者】
- ⑤休止中の宿泊施設の再稼働【町・観光協会・事業者】
- ⑥新規宿泊施設の誘致【町・観光協会】
- ⑦商店街の実態調査、ビジョン（振興方針）の検討と共有化【町・関係団体】
- ⑧空き店舗の利活用及び創業の促進・支援【町・商工会】
- ⑨起業家向けの低利融資制度の創設【町・金融機関】
- ⑩町内の人気店や全国各地にある魅力的な個店の誘致【町】
- ⑪高齢者など町民が集う交流の場の創設、コミュニティビジネスの推進【町】
- ⑫地域の特性を活かした各個店の魅力づくり【町・商工会】
- ⑬地場産品を取り扱う店舗の拡大【事業者・町・関係団体】
- ⑭ポロト地区における温泉、宿泊、飲食、土産品等の機能整備【町・関係団体】

活性化推進プランC 工芸品・特産品の開発・ブランド化

アイヌの伝統文化・食文化を活かした新たな工芸品・特産品等の開発を促進する。

次世代につづく伝承者・若者の生業になることを目的としたアイヌ文化を活かした事業開発及び創業を促進する。

- ①アイヌ文化の芸術的要素を活かした工芸品の開発【事業者・関係団体・町】
- ②アイヌの伝承有用植物を活用した商品開発【事業者・関係団体・町】
- ③オハウや鮭料理などを提供する飲食店、飲食スペースの設置【事業者・関係団体・町】
- ④アイヌの伝統食の生産・販売体制の強化【事業者・関係団体・町】
- ⑤アイヌ文化（知的財産等）のビジネス化可能性調査【町・関係団体】
- ⑥工芸品・特産品のブランド化、情報発信・PRの強化【事業者・関係団体・町】

将来目標② 世界中に発信する観光地づくり

基本方針② (1) 観光資源のネットワーク化
(2) アイヌ文化の情報発信
(3) 人材育成とストーリーづくり

主要施策② (1) 交通・アクセスの強化
(2) 観光による地域活性化

活性化推進プランD 交通・アクセスの強化

広域交通、地域交通の整備とネットワーク強化を図り、来訪者の利便性、回遊性を高める。

- ①JR(特急)、広域路線バスの増便【町・JR・バス事業者】
- ②地域交通網の整備、アクセス利便性の向上【町・交通事業者】

活性化推進プランE 観光による地域活性化

2020年に向けた戦略的な観光プロモーションを展開し、さらなる交流人口の拡大を図る。

- ①東京オリンピック・パラリンピック及び象徴空間開設に向けた誘客活動の推進【町・観光協会】
- ②国内外における観光営業、誘客活動の強化【町・観光協会】
- ③白老版DMOの構築(地域内のネットワーク)【町・関係団体】
- ④町内観光資源の活用、町内を周遊する着地型観光の造成【町・観光協会】
- ⑤来訪者の受入体制・おもてなし環境の整備、観光ガイドの育成【町・観光協会】
- ⑥多言語対応、バリアフリー環境の整備【町・観光協会】

将来目標③ 多様な人材と交流を活かした魅力あるまちづくり

基本方針③ (1) 料理人や伝統職人等の発掘
(2) 異文化や民族交流の活発化
(3) 体験交流の強化や交流拠点の形成

主要施策③ (1) 交流・体験活動の推進
(2) 推進体制の確立

活性化推進プランF 交流・体験活動の推進

多様な文化を享受し、触れあい、学ぶことのできる多文化共生による地域活性化を推進する。

- ①世界の多文化・人々が集うコンベンション等の誘致【町・関係団体】
- ②象徴空間整備と連動した活性化イベントの開催【町・関係団体】
- ③各種体験事業の実施【町・関係団体】
- ④ポロト湖畔における体験機能の強化【町・関係団体】
- ⑤視察ビジネスの導入【町・観光協会】

活性化推進プランG 推進体制の確立

地域活性化の中心的な役割を担う民間を主体とした推進組織を設立し、収益事業・ビジネスとなる取組みを推進する。

- ①民間を主体とした活性化推進組織「まちづくり会社」の設立【町・関係団体】
- ②専門的な技術・能力を持つ人材の確保・育成【町・関係団体】

活性化推進プランー 3 < 基盤整備推進分野 >

地域と交流を支える都市基盤を構築するまちづくりを行い、交流・定住人口増加にむけた利便性向上と快適空間の創造をめざす。

将来目標① アイヌ文化を活かした景観と基盤整備の推進

基本方針① (1) アイヌ文化を活かした景観形成
(2) アイヌ文化を活かした基盤整備
(3) 都市空間と産業空間が調和した配置の推進

主要施策① (1) 多文化共生およびアイヌ文化を活かした景観形成
(2) まちの豊かな資源の保全と活用
(3) 自然や文化からの糧（産業）と暮らしとの調和

活性化推進プランA 多文化共生およびアイヌ文化を活かした景観形成

恵まれた自然と文化をテーマにデザインの統一化を図る。

象徴空間から中心市街地へ歩いて楽しくなるようなデザインの検討。

- ①統一デザインのマニュアル化【町】
- ②象徴空間から中心市街地へ歩いて楽しくなるデザインの検討・事業化【町・事業者】
- ③歓迎ムードを高めるための歩行空間とアイテムの検討・事業化【町・観光協会・事業者】
- ④ロゴやキャッチフレーズの活用【町・関係団体・事業者】
- ⑤街並形成を促進する補助・支援制度の検討【町】

活性化推進プランB まちの豊かな資源の保全と活用

自然と共に生きた民族文化を尊重し、恵まれた自然資源の保全と節度ある活用を図る。

- ①象徴空間周辺の豊かな自然環境の保全と節度ある活用の検討・対応【町・事業者】
- ②散策ややすらぎの場を提供する健康保養型レクリエーションゾーンの形成の検討【国・町】
- ③ポロト湖周辺を対象とした景観保全（屋外広告物の制限等）【町】

活性化推進プランC 自然や文化からの糧（産業）と暮らしとの調和

恵まれた自然や民族文化と産業の調和を図る。

- ①象徴空間を活かし地元産業（工芸、食材・加工等）の立地を図る【町・事業者・関係団体】
- ②民族博物館内の民芸店の移転・整備【国・町・民博・事業者】

将来目標② ポロト湖周辺の有効な土地利用とアクセスの充実

基本方針② (1) 交流が活発化する土地利用
(2) 交流が活発化するアクセス促進
(3) 交流が活発化する公共交通の確保

主要施策② (1) 将来に向けた土地利用の形成
(2) 周辺道路等整備およびアクセスの向上
(3) 交通体系・公共交通等の機能の向上

活性化推進プランD 将来に向けた土地利用の形成

事業推進プランに向けた土地利用計画の策定と実施にむけた準備を推進する。

- ①地域や観光を支える象徴空間周辺の商業地の位置選定等の検討【町・関係団体】
- ②国立博物館等利用者の駐車場の位置選定等の検討【国・町】
- ③象徴空間に隣接する温泉施設の位置選定等の検討【町・関係団体】
- ④駅北再開発のための土地利用計画等の検討【町】
- ⑤各種事業による都市計画変更（用途地域・都市計画道路）の検討【町】

活性化推進プランE 周辺道路等整備およびアクセスの向上

集客増に対応する道路整備および象徴空間へのアクセスの向上を図る。

- ①交通渋滞の解消【北海道・町】
- ②町道拡幅・整備（アクセス改善）【町】
- ③公園通りの道道変更等の道路整備（アクセス改善）【北海道・苫小牧市・町】
- ④博物館や商業・温泉施設の利用者駐車場整備、バス待機場の整備【町・事業者】
- ⑤誘導サインの整備【国・町】

活性化推進プランF 交通体系・公共交通等の機能の向上

地域や観光客の利便性を高めるため交通体系や公共交通機能の向上を図る。

- ①JR 白老駅の利便性向上（駅舎改築）【北海道・町・JR】
- ②JR白老駅へのアクセスおよび駅周辺の回遊性の向上を図るため自由通路の設置【町・JR】
- ③路線バスの利便性向上（待合所整備）【町・事業者】

将来目標③ 商業・観光施設整備の促進と地域ネットワークの形成

基本方針③

- (1) 新たな商店街整備の推進
- (2) 新たな観光施設整備の推進
- (3) 地域ネットワーク（住居）の促進
- (4) 既存施設の整備推進

主要施策③

- (1) 象徴空間周辺施設の施設配置計画
- (2) 住環境の保全および住宅の提供
- (3) 既存施設・商店街の整備

活性化推進プランG 象徴空間周辺施設の施設配置計画

象徴空間の施設整備に合わせて、相乗効果や産業活性化を促進する施設配置を進める。

- ①周辺施設整備にかかる事業手法の選定（計画、交付金、補助金）【町・事業者】
- ②商業・観光施設配置計画の策定（主体、手法、財源）【町・事業者】
- ③インフォメーション機能を備えた施設の整備【事業者】
- ④全町内の受入れ商業施設等の整備促進【事業者】

活性化推進プランH 住環境の保全および住宅の提供

象徴空間周辺の住環境の保全と町内居住受入れのための住宅提供を推進する。

- ①象徴空間整備等に伴う周辺住環境の保全の検討・対応【国・町・事業者】
- ②博物館職員等の増加に対応する住宅の提供【事業者】

活性化推進プランI 既存施設・商店街の整備

既存施設や商店街の活性化に取り組むとともに、空き店舗等の有効活用を図る。

- ①象徴空間周辺の商業・観光施設の整備【町・関係団体】
- ②大町・東町商店街の環境整備【町・事業者】

活性化推進プランー 4 <教育・学習推進分野>

国籍や民族、言語、文化の差異を認め、尊重し合う多様で豊かな生活空間を共有する社会の構築を行うため、独自文化の保存伝承、理解を広げる環境づくりや相互協力できる土壌づくりを目指した施策を実施して、象徴空間整備に伴う多文化共生の地域づくりをめざす。

将来目標① アイヌ民族の歴史と文化の正しい認識と理解の普及

基本方針① (1) 歴史を正しく理解し、文化に関する知識、情報を共有できる環境づくり
(2) 歴史・文化を学習するための教育振興

主要施策① (1) 多文化共生および地域学講座の実施
(2) 文化学習を促進する教材の整備
(3) 陣屋資料館の活用促進

活性化推進プランA 多文化共生および地域学講座の実施

多文化共生およびアイヌ文化・歴史などを学ぶ講座の実施をとおして、文化を学ぶことの楽しさや他の文化に接するための心構えなどに気づく。新たな発見や楽しさの獲得を導く。

- ① 地域学講座開講事業【町・関係団体】
- ② 芸能団体や文化団体が成果を発表する交流会等イベントの実施【町・観光協会】

活性化推進プランB 文化学習を促進する教材の整備

文化の盛衰は日常生活と密接に関わり合う。「普段からふれ合える」「あたりまえにある」という環境下でこそ文化への関心や理解は育まれる。

- ① 幼児期－読み聞かせ、アイヌの昔話等読本の作成【町】
- ② 小中学生－アイヌ文化体験、図書資料の充実、文化施設の活用【町】
- ③ 高校生－言語学等や職業体験等の導入による文化学への接近プログラム作成【町・関係団体】

活性化推進プランC 陣屋資料館の活用促進

教育旅行等の受入や町民参画のイベントといった既存の取組みを継続するとともに、陣屋跡の環境整備により全国的にも貴重な陣屋資料館の魅力の発信を行う。

- ① アイヌ民族博物館及びイオル事務所チキサ二との連携によるイベント実施【町・関係団体】
- ② 共通券等を利用した回遊性の強化【町・民博・観光協会】
- ③ しらおい地域文化研究会との協働による郷土情報の収集【町・関係団体】

将来目標② 民族の尊厳を尊重し合える多文化共生社会の実現

基本方針② (1) アイヌ文化の復興と創造的継承の支援
(2) アイヌ文化と伝統を尊重する共生のまちづくり
(3) アイヌ文化を普及・活用する人材育成

主要施策② (1) 次世代へ伝える読本・絵地図づくり
(2) 魅力ある高等教育の実践機会の創出
(3) 多彩な人材が文化発信の関与できる環境づくり

活性化推進プランD 次世代へ伝える読本・絵地図づくり

アイヌ文化の学習から培ったノウハウを生かし、児童・生徒自身が後輩へ伝える仕組みによる郷土学習の後押し。学校ごとに地域資料として積み重ねていく。

- ①絵地図づくり（家の庭の植物、しらおいの動物、川のある暮らし）【町・観光協会】
- ②聞き書き集作成（古老から白老の昔を聞く、アイヌの人権）【町・アイヌ協会・民博】

活性化推進プランE 魅力ある高等教育の実践機会の創出

高等学校教育の魅力化による地域活性化。成果を地域に還元する自主性のある取り組みを支援する。

- ①アイヌ語を含めた多言語学習枠の設置【町・アイヌ協会】
- ②専門学科の開設（多文化共生学科）【町】
- ③文化学・郷土史学習サークルの結成【町・民博・アイヌ協会】

活性化推進プランF 多彩な人材が文化発信に関与できる環境づくり

基礎づくりで培ったネットワークや、高等学校教育からの連結を想定。学んだ成果を様々な場面で活かせる環境を整える。

- ①多文化共生人材育成事業【町・商工会・関係団体】
- ②人材バンクの活用【町・商工会・事業者】
- ③人材のクラウドソーシング（外国人受入れ）【町・商工会・関係団体】
- ④子どものための海外派遣制度【国・町】
- ⑤アイヌ文化芸術家に対する支援制度の創設【町・商工会・関係団体】
- ⑥ガイド人材の育成【町・観光協会・関係団体】

将来目標③ 多文化共生による地域発展

基本方針③

- (1) アイヌ文化の知識や技術等を有する人材の育成と雇用の拡充
- (2) 多文化共生を担う人材育成と多様な人材が参画できる地域づくり

主要施策③

- (1) 「多文化共生社会」構築
- (2) イノベーションによる地域発展
- (3) 世界に拓かれたまちづくり

活性化推進プランG 「多文化共生社会」構築

高齢者コミュニティと連携した生涯学習事業の展開を図る。

農畜水産業者や町内の芸術家とも連携した多文化共生の形を実現する。

- ①多文化共生活動の推進【町・商工会・事業者】
- ②障がい者の創造活動の推進【町・商工会】
- ③高齢者の活躍の場を広げ、生きる知恵を地域に活かしたコミュニティの強化の促進【町】

活性化推進プランH イノベーションによる地域発展

「違い」は「新しさ」の第1歩と言われている。「違う」ものを受容し、触れ、交じり、学ぶことで生み出される多様性による地域発展が不可欠となる。

- ①全国各地のアイヌのつながりが生む文化振興（関連：ルイカプロジェクト）【町・民博】
- ②多文化共生の先進地との交流発展事業（米国ポートランド市、水俣市等）【町・民博】
- ③企業メセナの支援を得た文化芸術振興【町・商工会】
- ④白老町デジタルアーカイブスの制作【町・観光協会・商工会】

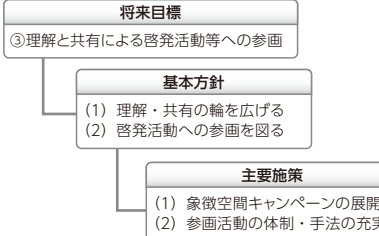
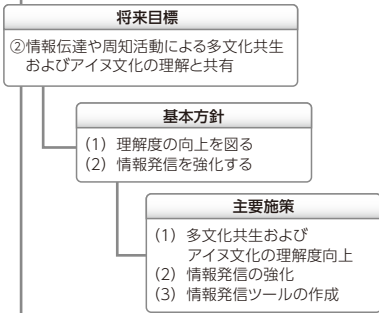
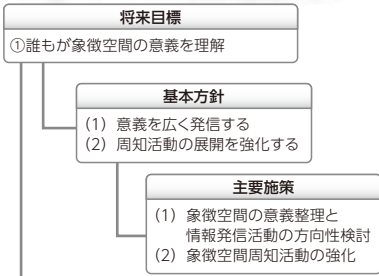
活性化推進プランI 世界に拓かれたまちづくり

基本方針「みんなの心つながる活力あふれる共生のまち」実現のためには、個人も町も、すべて拓かれる必要がある。世界に誇れるまちづくりをする。

- ①国民の祝祭日「アイヌ民族の日」の制定を目指す【国・北海道・町】
- ②世界の先住民族が集う地球感謝祭、コンベンション誘致【町・観光協会】
- ③多様な文化の相互理解と尊重による世界平和貢献（平和のまち宣言）【町・関係団体】

白老町活性化推進プラン全体スケジュール

Object Tree (情報推進分野)



A 象徴空間の意義整理と情報発信活動の方向性検討 対象/町内外

What if? 象徴空間の意義、開設について、国内外への情報発信の方向性を検討する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①象徴空間の意義整理および情報発信の方向性検討【町、関係団体】	○	○					

B 象徴空間周知活動の強化 対象/町内外

What if? 象徴空間の意義、開設の周知活動を強力に展開する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①移動博物館事業の開催（国内主要都市、海外主要都市）【民博、町、各団体】	○	○	○	○	○	○	
②白老町民へ周知活動の実施（地域、団体、企業、学校、交通機関等）【国、各団体】	○	○	○	○	○	○	
③北海道民へ周知活動の実施（北海道、市町村、メディア）【国、北海道、町、関係団体】	○	○	○	○	○	○	
④国民へ周知活動の実施（国、都道府県、市町村、メディア）【国、北海道、町、関係団体】	○	○	○	○	○	○	
⑤海外への周知活動の実施（国、メディア、企業）【国、北海道、町、関係団体】	○	○	○	○	○	○	

C 多文化共生およびアイヌ文化の理解度向上 対象/町内外

What if? アイヌ文化や民族の尊厳など理解度を向上させ共有する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①アイヌ文化の重点的な周知【民博】		○	○	○	○	○	○
②アイヌ文化の理解度調査の実施【民博】		○					
③アイヌ文化の理解度向上策の実施【民博】			○	○	○	○	○

D 情報発信の強化 対象/町内外

What if? 様々なツールや機会によって多文化共生およびアイヌ文化の情報を発信強化する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①インターネットやSNSなどによる情報発信【町、関係団体】	○	○	○	○	○	○	○
②旅行雑誌やガイドブックへの掲載（パブリッシング）【町、観光協会】		○	○	○	○	○	○
③テレビ・ラジオなどの番組や観光大使などによる情報発信【町、観光協会】		○	○	○	○	○	○
④多文化共生およびアイヌ文化の理解・啓発活動等を目的としたおもてなし研修会の開催【町、観光協会】		○	○	○	○	○	○

E 情報発信ツールの作成 対象/町内

What if? イメージや媒体などによってわかりやすいツールを作成する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①イメージキャラクター等を活用した情報発信ツールの制作【各団体】				○	○		
②アイヌグッズや伝統工芸、アイヌデザインを活用した情報発信ツールの制作【民博、アイヌ協会】		○	○				
③訪日外国人を対象とした情報発信ツールの制作【町、関係団体】		○	○				
④多文化共生イメージによる基本デザインの作成【町】	○						
⑤象徴空間グッズの制作とPR活用【町】		○	○	○	○	○	

F 象徴空間キャンペーンの展開 対象/町外

What if? 象徴空間の理解共有の輪を広げるため、キャンペーンを展開する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①アイヌ地域ネットワークを活用した合同キャンペーン実施【アイヌ協会】				○	○	○	
②東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れた観光キャンペーンの実施【町、観光協会】		○	○	○	○	○	

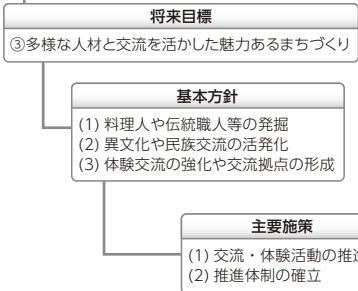
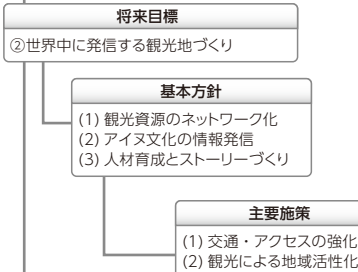
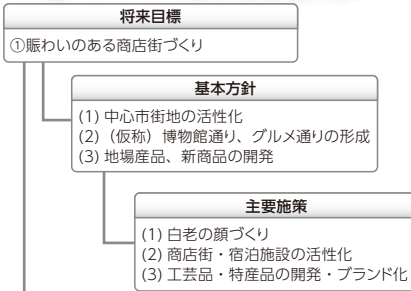
G 参画活動の体制・手法の充実 対象/町内外

What if? より多くの人たちが参画し共感できる運動を展開する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①地区アイヌ協会や北海道アイヌ協会、全国組織などの参画活動の展開【アイヌ協会】		○	○	○	○	○	
②多文化共生参画活動の展開【町、関係団体】		○	○	○	○	○	

白老町活性化推進プラン全体スケジュール

Object Tree (活性化推進分野)



A 白老の顔づくり 対象/町内外

What if? 白老町の「顔」となる施設、環境を整備し、象徴空間からの来訪者を積極的に街なかへ受け入れる。ポルトコタンの文化的、デザイン要素などを取り入れた、アイデンティティのある街なかを創出する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①集客拠点施設の開設（道の駅、マルシェ等）【町、関係団体】		○	○	○	○		
②多文化共生およびアイヌ文化を表現する象徴的なモニュメントの設置【町】				○	○		
③コタンコルクル像の活用（象徴空間のシンボルとして）の検討【町、民博】		○	○	○	○		
④看板設置・ライトアップによるPR【町、関係団体】		○	○	○	○		

B 商店街・宿泊施設の活性化 対象/町内外

What if? 商店街、宿泊施設の受入体制と機能強化を図り、交流人口の増大、滞在型観光に対応できる環境整備を進める。来訪者の満足度を高め、リピートしたくなる飲食店、土産物店、宿泊施設の拡充を図る。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①宿泊施設の実態調査、課題等の把握（支援メニュー等の検討）【町、観光協会】		○	○	○	○		
②宿泊施設のリニューアル、アイヌ文化等を取り入れた宿泊施設の整備【事業者、町】		○	○	○	○		
③多様な宿泊ニーズに対応できる体制づくり（人材育成等）【事業者、町、観光協会】		○	○	○	○	○	
④各宿泊施設における特色・魅力づくり（オプションツアー等の造成）【町、観光協会、事業者】		○	○	○	○		
⑤休止中の宿泊施設の再稼働【町、観光協会、事業者】		○	○	○	○		
⑥新規宿泊施設の誘致【町、観光協会】		○	○	○	○		
⑦商店街の実態調査、ビジョン（振興方針）の検討と共有化【町、関係団体】	○	○					
⑧空き店舗の利活用及び創業の促進・支援【町、商工会】	○	○	○	○	○	○	
⑨起業家向けの低利融資制度の創設【町、金融機関】		○	○	○	○	○	
⑩町内の人気店や全国各地にある魅力的な個店の誘致【町】		○	○	○	○		
⑪高齢者など町民が集う交流の場の創設、コミュニティビジネスの推進【町】		○	○	○	○		
⑫地域の特性を活かした各個店の魅力づくり【町、商工会】	○	○	○	○	○	○	
⑬地場産品を取り扱う店舗の拡大【事業者、町、関係団体】		○	○	○	○	○	
⑭ポルト地区における温泉、宿泊、飲食、土産品等の機能整備【町、関係団体】		○	○	○	○	○	

C 工芸品・特産品の開発・ブランド化 対象/町内外

What if? アイヌの伝統文化・食文化を活かした新たな工芸品・特産品等の開発を促進する。次世代につづく伝承者・若者の生業になることを目的としたアイヌ文化を活かした事業開発及び創業を促進する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①アイヌ文化の芸術的要素を活かした工芸品の開発【事業者、関係団体、町】		○	○	○	○		
②アイヌの伝承有用植物を活用した商品開発【事業者、関係団体、町】		○	○	○	○	○	
③オハワや鮭料理などを提供する飲食店、飲食スペースの設置【事業者、関係団体、町】	○	○	○	○	○		
④アイヌの伝統食の生産・販売体制の強化【事業者、関係団体、町】		○	○	○	○		
⑤アイヌ文化（知的財産等）のビジネス化可能性調査【町、関係団体】		○	○	○	○		
⑥工芸品・特産品のブランド化、情報発信・PRの強化【事業者、関係団体、町】		○	○	○	○	○	

D 交通・アクセス強化 対象/町内外

What if? 広域交通、地域交通の整備とネットワーク強化を図り、来訪者の利便性、回遊性を高める。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①JR（特急）、広域路線バスの増便【町、JR、バス事業者】		○	○	○	○	○	
②地域交通網の整備、アクセス利便性の向上【町、交通事業者】				○	○	○	

E 観光による地域活性化 対象/町内外

What if? 2020年に向けた戦略的な観光プロモーションを展開し、さらなる交流人口の拡大を図る。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①東京オリンピック・パラリンピック及び象徴空間開設に向けた誘客活動の推進【町、観光協会】	○	○	○	○	○	○	
②国内外における観光営業、誘客活動の強化【町、観光協会】	○	○	○	○	○	○	
③白老版DMOの構築（地域内ネットワーク）【町、関係団体】		○	○				
④町内観光資源の活用、町内を周遊する着地型観光の造成【町、観光協会】		○	○	○	○	○	
⑤来訪者の受入体制・おもてなし環境の整備、観光ガイドの育成【町、観光協会】	○	○	○	○	○	○	
⑥多言語対応、バリアフリー環境の整備【町、観光協会】	○	○					

F 交流・体験活動の推進 対象/町内

What if? 多様な文化を享受し、触れ合い、学ぶことのできる多文化共生による地域活性化を推進する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①世界の多文化・人々が集うコンベンション等の誘致【町、関係団体】						○	
②象徴空間整備と連動した活性化イベントの開催【町、関係団体】					○	○	
③各種体験事業の実施【町、関係団体】	○	○	○	○	○	○	
④ポルト湖畔における体験機能の強化【町、関係団体】		○	○	○	○	○	
⑤視察ビジネスの導入【町、観光協会】		○	○	○	○	○	

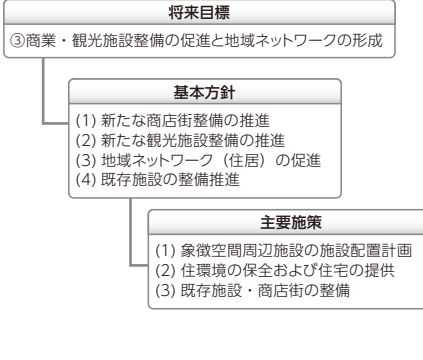
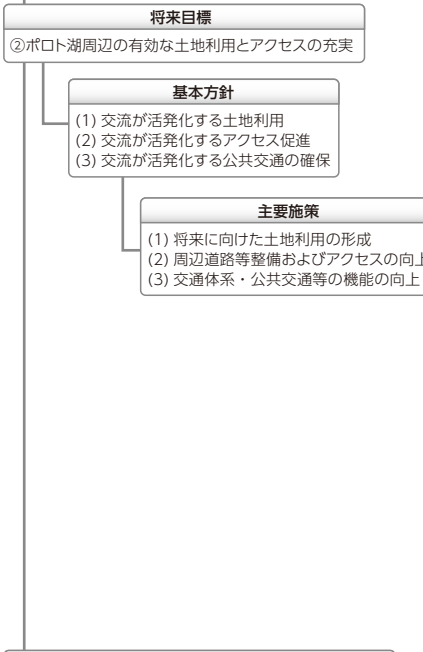
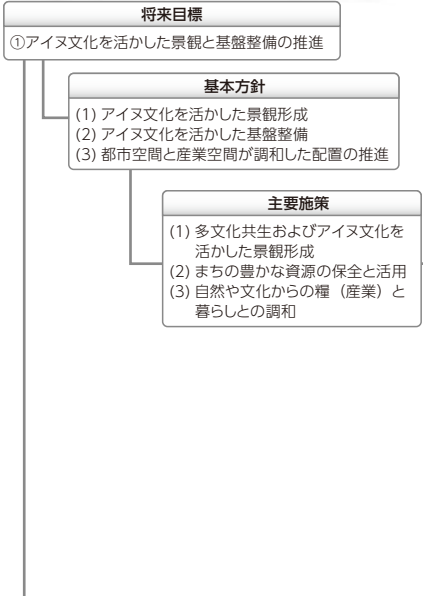
G 推進体制の確立 対象/町内

What if? 地域活性化の中心的な役割を担う民間を主体とした推進組織を設立し、収益事業・ビジネスとなる取組みを推進する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①民間を主体とした活性化推進組織「まちづくり会社」の設立【町、関係団体】	○	○	○	○	○	○	
②専門的な技術・能力を持つ人材の確保・育成【町、関係団体】	○	○	○	○	○	○	

白老町活性化推進プラン全体スケジュール

Object Tree (基盤整備推進分野)



A 多文化共生およびアイヌ文化を活かした景観形成 対象/町内

What if? 恵まれた自然と文化をテーマにデザインの統一化を図る。象徴空間から中心市街地へ歩いて楽しくなるようなデザインの検討。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①統一デザインのマニュアル化【町】				○	○	○	○
②象徴空間から中心市街地へ歩いて楽しくなるデザインの検討・事業化【町、事業者】		○	○	○	○		
③歓迎ムードを高めるための歩行空間とアイテムの検討・事業化【町、観光協会、事業者】			○	○	○		
④ロゴやキャッチフレーズの活用【町、関係団体、事業者】			○	○	○	○	○
⑤街並形成を促進する補助・支援制度の検討【町】					○	○	○

B まちの豊かな資源の保全と活用 対象/町内

What if? 自然と共に生きた民族文化を尊重し、恵まれた自然資源の保全と節度ある活用を図る。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①象徴空間周辺の豊かな自然環境の保全と節度ある活用の検討・対応【町、事業者】		○	○	○	○		
②散策ややすらぎの場を提供する健康保養型レクリエーションゾーンの形成の検討【国、町】			○	○	○		
③ポロト湖周辺を対象とした景観保全（屋外広告物の制限等）【町】					○	○	○

C 自然や文化からの種（産業）と暮らしとの調和 対象/町内

What if? 恵まれた自然や民族文化と産業の調和を図る。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①象徴空間を活かした地元産業（工芸、食材、加工等）の立地を図る【町、事業者、関係団体】		○	○	○	○		
②民族博物館内の民芸店の移転・整備【国、町、民博、事業者】			○	○	○		

D 将来に向けた土地利用の形成 対象/町内

What if? 事業推進プランに向けた土地利用計画の策定と実施に向けた準備を推進する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①地域や観光を支える象徴空間周辺の商業地の位置選定等の検討【町、関係団体】		○	○	○			
②国立博物館等利用者の駐車場の位置選定等の検討【国、町】	○	○					
③象徴空間に隣接する温泉施設の位置選定等の検討【町、関係団体】	○	○					
④駅北再開発のための土地利用計画等の検討【町】		○	○	○			
⑤各種事業による都市計画変更（用途地域・都市計画道路）の検討【町】	○	○	○				

E 周辺道路等整備およびアクセスの向上 対象/町内

What if? 集客増に対応する道路整備および象徴空間へのアクセスの向上を図る。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①交通渋滞の解消【北海道、町】			○	○	○	○	○
②町道拡幅・整備（アクセス改善）【町】	○	○	○	○	○	○	○
③公園通りの道道変更等の道路整備（アクセス改善）【北海道、苫小牧市、町】	○	○	○	○	○	○	○
④博物館や商業・温泉施設の利用者駐車場整備、バス待機場の整備【町、事業者】	○	○	○	○	○	○	○
⑤誘導サインの整備【国、町】				○	○		

F 交通体系・公共交通等の機能の向上 対象/町内

What if? 地域や観光客の利便性を高めるため交通体系や公共交通機能の向上を図る。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①JR 白老駅の利便性向上（駅舎改築）【北海道、町、JR】		○	○	○	○	○	○
②JR 白老駅へのアクセスおよび駅周辺の回遊性の向上を図るため自由通路の設置【町、JR】		○	○	○	○	○	○
③路線バスの利便性向上（待合所整備）【町、事業者】				○	○	○	○

G 象徴空間周辺施設の施設配置計画 対象/町内

What if? 象徴空間の施設整備に合わせて、相乗効果や産業活性化を促進する施設配置を進める。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①周辺施設整備にかかる事業手法の選定（計画、交付金、補助金）【町、事業者】		○	○				
②商業・観光施設配置計画の策定（主体、手法、財源）【町、事業者】		○	○	○			
③インフォメーション機能を備えた施設の整備【事業者】		○	○	○	○	○	
④全町内の受入商業施設等の整備促進【事業者】		○	○	○	○	○	○

H 住環境の保全および住宅の提供 対象/町内

What if? 象徴空間周辺の住環境の保全と町内居住受入れのための住宅提供を推進する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①象徴空間整備等に伴う周辺住環境の保全の検討・対応【国、町、事業者】		○	○	○	○	○	○
②博物館職員等の増加に対応する住宅の提供【事業者】		○	○	○	○		

I 既存施設・商店街の整備 対象/町内

What if? 既存施設や商店街の活性化に取り組むとともに、空き店舗等の有効活用を図る。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①象徴空間周辺の商業・観光施設の整備【町、関係団体】			○	○	○	○	○
②大町・東町商店街の環境整備【町、事業者】		○	○	○	○	○	○

白老町活性化推進プラン全体スケジュール

Object Tree (教育・学習推進分野)

将来目標
①アイヌ民族の歴史と文化の正しい認識と理解の普及

基本方針
(1) 歴史を正しく理解し、文化に関する知識、情報を共有できる環境づくり
(2) 歴史・文化を学習するための教育振興

主要施策
(1) 多文化共生および地域学講座の実施
(2) 文化学習を促進する教材の整備
(3) 陣屋資料館の活用促進

将来目標
②民族の尊厳を尊重し合える多文化共生社会の実現

基本方針
(1) アイヌ文化の復興と創造的継承の支援
(2) アイヌ文化と伝統を尊重する共生のまちづくり
(3) アイヌ文化を普及・活用する人材育成

主要施策
(1) 次世代へ伝える読本・絵地図づくり
(2) 魅力ある高等教育の実践機会の創出
(3) 多彩な人材が文化発信に関与できる環境づくり

将来目標
③多文化共生による地域発展

基本方針
(1) アイヌ文化の知識や技術等を有する人材の育成と雇用の拡充
(2) 多文化共生を担う人材育成と多様な人材が参画できる地域づくり

主要施策
(1) 「多文化共生社会」構築
(2) イノベーションによる地域発展
(3) 世界に拓かれたまちづくり

A 多文化共生および地域学講座の実施 対象/町内

What if? 多文化共生およびアイヌ文化・歴史などを学ぶ講座の実施をとおして、文化を学ぶことの楽しさや他の文化に接するための心構えなどに気づく。新たな発見や楽しさの獲得を導く。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①地域学講座開講事業【町、関係団体】		○	○	○	○	○	○
②芸能団体や文化団体が成果を発表する交流会等のイベントの実施【町、観光協会】		○	○	○	○	○	○

B 文化学習を促進する教材の整備 対象/町内

What if? 文化の盛衰は日常生活と密接に関わり合う。「普段から触れ合える」「あたりまえにある」という環境下でこそ文化への関心や理解は育まれる。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①幼児期一読み聞かせ、アイヌの昔話等読本の作成【町】		○	○	○	○	○	○
②小中学生—アイヌ文化体験、図書資料の充実、文化施設の活用【町】		○	○	○	○	○	○
③高校生—言語学等や職業体験等の導入による文化学への接近プログラム作成【町、関係団体】		○	○	○	○	○	○

C 陣屋資料館の活用促進 対象/町内

What if? 教育旅行の受入や町民参画のイベントなど既存の取組みを継続するとともに、陣屋跡の環境整備により全国的にも貴重な陣屋資料館の魅力の発信を行う。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①アイヌ民族博物館及びビオラ事務所チキサニとの連携によるイベント実施【町、関係団体】		○	○	○	○	○	○
②共通券等を利用した回遊性の強化【町、民博、観光協会】						○	○
③しらおい地域文化研究会との協働による郷土情報の収集【町、関係団体】		○	○	○	○	○	○

D 次世代へ伝える読本・絵地図づくり 対象/町内

What if? アイヌ文化の学習から培ったノウハウを生かし、児童・生徒自身が後輩へ伝える仕組みによる郷土学習の後押し。学校ごとに地域資料として積み重ねていく。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①絵地図づくり(家の庭の植物、しらおいの動物、川のある暮らし)【町、観光協会】		○	○	○	○	○	○
②聞き書き集作成(古老から白老の昔を聞く、アイヌの人権)【町、アイヌ協会、民博】		○	○	○	○	○	○

E 魅力ある高等教育の実践機会の創出 対象/町内

What if? 高等学校教育の魅力化による地域活性化。成果を地域に還元する自主性のある取組みを支援する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①アイヌ語を含めた多言語学習枠の設置【町、アイヌ協会】				○	○	○	○
②専門学科の開設(多文化共生学科)【町】				○	○	○	○
③文化学・郷土史学習サークルの結成【町、民博、アイヌ協会】			○	○	○	○	○

F 多彩な人材が文化発信に関与できる環境づくり 対象/町内

What if? 基礎づくりで培ったネットワークや、高等学校教育からの連結を想定。学んだ成果を様々な場面で活かせる環境を整える。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①多文化共生人材育成事業【町、商工会、関係団体】		○	○	○	○	○	○
②人材バンクの活用【町、商工会、事業者】			○	○	○	○	○
③人材のクラウドソーシング(外国人受け入れ)【町、商工会、関係団体】			○	○	○	○	○
④子どものための海外派遣制度【国、町】			○	○	○	○	○
⑤アイヌ文化芸術家に対する支援制度の創設【町、商工会、関係団体】		○	○	○	○	○	○
⑥ガイド人材の育成【町、観光協会、関係団体】		○	○	○	○	○	○

G 「多文化共生社会」構築 対象/町内

What if? 高齢者コミュニティと連携した生涯学習事業の展開を図る。農畜水産業者や町内の芸術家とも連携した多文化共生の形を実現する。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①多文化共生活動の推進【町、商工会、事業者】		○	○	○	○	○	○
②障がい者の創造活動の推進【町、商工会】			○	○	○	○	○
③高齢者の活躍の場を広げ、生きる知恵を地域に活かしたコミュニティの強化の促進【町】			○	○	○	○	○

H イノベーションによる地域発展 対象/町内

What if? 「違い」は「新しさ」の第1歩と言われている。「違う」ものを容れ、触れ、交じり、学ぶことで生み出される多様性の地域発展が不可欠となる。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①全国各地のアイヌのつながりが生む文化振興(関連:ルイカプロジェクト)【町、民博】	○	○	○	○	○	○	○
②多文化共生の先進地との交流発展事業(米田ポートランド市、水俣市等)【町、民博】	○	○	○	○	○	○	○
③企業×セナの支援を得た文化芸術振興【町、商工会】			○	○	○	○	○
④白老町デジタルアーカイブスの制作【町、観光協会、商工会】		○	○	○	○	○	○

I 世界に拓かれたまちづくり 対象/町内

What if? 基本方針「みんなの心つながる活力あふれる共生のまち」実現のためには、個人も町も、すべて拓かれる必要がある。世界に誇れるまちづくりをする。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
①国民の祝祭日「アイヌ民族の日」の制定を目指す【国、北海道、町】		○	○	○	○	○	○
②世界の先住民族が集う地球感謝祭、コンベンション誘致【町、観光協会】			○	○	○	○	○
③多様な文化の相互理解と尊重による世界平和貢献(平和のまち宣言)【町、関係団体】			○	○	○	○	○

白老町活性化推進プラン全体スケジュール

	活性化推進プラン	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
情報推進分野	活性化推進プランA 象徴空間の意義整理と情報発信活動の方向性検討	○	○					
	活性化推進プランB 象徴空間周知活動の強化	○	○	○	○	○	○	
	活性化推進プランC 多文化共生およびアイヌ文化の理解度向上		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランD 情報発信の強化	○	○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランE 情報発信ツールの作成	○	○	○	○	○	○	
	活性化推進プランF 象徴空間キャンペーンの展開		○	○	○	○	○	
	活性化推進プランG 参画活動の体制・手法の充実		○	○	○	○	○	
活性化推進分野	活性化推進プランA 白老の顔づくり		○	○	○	○		
	活性化推進プランB 商店街・宿泊施設の活性化	○	○	○	○	○	○	
	活性化推進プランC 工芸品・特産品の開発・ブランド化		○	○	○	○	○	
	活性化推進プランD 交通・アクセスの強化		○	○	○	○	○	
	活性化推進プランE 観光による地域活性化	○	○	○	○	○	○	
	活性化推進プランF 交流・体験活動の推進	○	○	○	○	○	○	
	活性化推進プランG 推進体制の確立	○	○	○	○	○	○	
基盤整備推進分野	活性化推進プランA 多文化共生およびアイヌ文化を活かした景観形成		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランB まちの豊かな資源の保全と活用		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランC 自然や文化からの糧(産業)と暮らしとの調和		○	○	○	○		
	活性化推進プランD 将来に向けた土地利用の形成	○	○	○	○			
	活性化推進プランE 周辺道路等整備およびアクセスの向上	○	○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランF 交通体系・公共交通等の機能の向上		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランG 象徴空間周辺施設の施設配置計画		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランH 住環境の保全および住宅の提供		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランI 既存施設・商店街の整備		○	○	○	○	○	○
教育・学習推進分野	活性化推進プランA 多文化共生および地域学講座の実施		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランB 文化学習を促進する教材の整備		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランC 陣屋資料館の活用促進		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランD 次世代へ伝える読本・絵地図づくり		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランE 魅力ある高等教育の実践機会の創出			○	○	○	○	○
	活性化推進プランF 多彩な人材が文化発信に関与できる環境づくり		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランG 「多文化共生社会」構築		○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランH イノベーションによる地域発展	○	○	○	○	○	○	○
	活性化推進プランI 世界に拓かれたまちづくり			○	○	○	○	○